

平成28年 第1回 愛別町総合教育会議 議事録

1. 日 時 平成28年11月28日(木)
開会 午後3時55分 閉会 午後4時50分
2. 場 所 愛別町総合センター 1階 長寿の間
3. 出席者 愛 別 町 町 長 前佛 秀幸
愛別町教育委員会 委員長 中田 栄一
委 員 長屋 修二
委 員 森定 典子
委 員 三嶋 健嗣
教育長 大山 一成

事務局関係
総務企画課長 石田 光幸
総務企画課長補佐 小森 優
総務企画課総務係長 上北 泰志
教育委員会教育次長 谷田 道明
教育委員会主幹 高田 直樹
教育委員会学校教育係長 三浦 英和
教育委員会社会教育係長 白鳥 俊樹
4. 協議事項 (1) 愛別町いじめ防止基本方針(案)について
(2) 平成29年度教育予算(事業)等について
(3) その他
5. 議事経過の内容 別紙のとおり

発言者	発言概要
石田課長	ただ今から、本年度の愛別町総合教育会議を開催いたします。開会に当たり、町長からご挨拶いたします。
前佛町長	今日は、お忙しい中、また教育委員会議に引き続き、総合教育会議にご出席いただき、ありがとうございます。 今日は、愛別町におけるいじめ防止等に関する条例が制定されまして、それに関わる基本方針の案件と、来年度に向けての教育予算について、皆様のご意見をお伺いしてまいりたいと思いますので、よろしくお願い致します。
石田課長	それでは、本日の総合教育会議の議事録署名委員の指名について、町長からお願い致します。
前佛町長	教育委員さん全員ご出席ですので、中田教育委員、大山教育委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願い致します。
石田課長	それではさっそく、協議事項に入りたいと思います。愛別町いじめ基本方針についてと、平成29年度教育予算等についてということで、教育委員会からお願い致します。
谷田次長	(愛別町いじめ防止基本方針(案)について、資料に基づき説明) 今回、総合教育会議の中で、町長と教育委員さんがお集まりですので、この基本方針を決定する場としては、良い場面かということで、今回、方針について提案させていただきました。よろしくお願い致します。
前佛町長	それでは、愛別町いじめ防止基本方針についてということで、お話をさせていただきました。7月にご審議いただき、答申をいただいたということですが、事務局から説明があったように、時代にあった対応、見直しを含めて進めていただきたいという付帯意見をいただきました。この内容につきまして、皆さんからご意見ございませんか。事前にご審議いただいたということで、この基本方針で、策定してよろしいでしょうか。
委員一同	よろしいです。
前佛町長	皆様のご了承をいただきました。この基本方針で策定をさせていただきます。 それでは、2点目、平成29年度教育予算等についてということで、教育委員会としての予算等についての考え方について説明をお願いします。
谷田次長	(平成29年度教育予算(事業)等について、資料に基づき説明)

前佛町長	<p>平成 29 年度の教育予算等について、事務局から説明がありました。まだ、予算編成段階に入っていないということと、来年、町長選挙があるため骨格予算であることを事前にご理解いただきたいと思います。それでは、皆さんからご意見ございましたら、お聞かせいただきたいと思います。</p> <p>項目ごとに、私の方からお聞きします。</p> <p>教育推進アドバイザーの設置について、将来的な構想を練るということですが、何年間で仕上げていくのか。将来的なこと、ハードの部分もあるかもしれませんが、ある程度計画性をもって進めていかなければならないと思っています。おおむね、2～3年でしょうか、何年くらいでしょうか。</p>
大山教育長	<p>計画 فقطだと、2 年と考えていました。それに、コミュニティスクールの部分で地元の方との協議、小中一貫、連携、施設整備も含めた構想関係の具現化に向けた協議も含めると、最低 3 年はお願ひしたいと思っています。それで、組織を立ち上げて協議して、進捗状況を見て、どうしていくのかということ、3 年後くらいには、また協議させていただければと思います。</p>
前佛町長	<p>一般的な計画では、1 年目に意見を聴いて、2 年目に本計画が策定されるということで、通常の振興計画でも最低 2 年はかかるとしています。コミュニティスクールについては、愛別町であれば、地域の方々の理解があるので、そんなに長い期間は必要ないが、小中一貫の関係は、色々な体制のこともあり、今のお話を聞くと、3 年くらいを見込んで配置しなければならないかと伺いましたが、アドバイザーの関係でご意見ございませんか。</p>
中田委員長	<p>実際に動いてみて、どういうことになるか、その内容によっても変わってくると思う。これから、コミュニティスクールが、国の方でも推進しているので、特に子どもが少なくなってくると、地域の人々の力が必要になってくるだろうし、地域の人々に学校というものを理解してもらわないといけないと思うので、そういった形の中で、どういうふうにして持っていくかということがある。</p>
前佛町長	<p>そうですね。今言われたように、積極的に学校運営の中に、ご意見をいただく、関わっていただくことが大事なことかと思っています。</p>
大山教育長	<p>小中一貫教育の部分については、施設一体型、隣接型、離れている、とそれぞれシステムがあり、一体型でやれるのも素晴らしい効果があるかと思いますが、そこまですぐできない場合に、隣接型で、カリキュラムの中で、中学校の先生が小学校で教える、小学校の先生が中学校に行き行ってサポートする、先生方が自由に行き来できるような体制をまずは進めていくのも一つの手段かと思っています。それを、小中学校の先生のご理解をいただきながら、合わせて住民の方々のご理解も</p>

	<p>いただきながら、3年後くらいまでに進めていく、その手助けをお願いできるようなアドバイザーを探していきたいと思っています。合わせて、教育委員が、道内の施設一体型の先進地域に出向いて、実態を勉強させていただき予算も要求させていただければと思っています。</p>
前佛町長	<p>施設一体型であれば、6、3年制を、柔軟に分けることも可能だが、建物が別だと、そういう部分は難しいのかな。教職員の交流によって連携を深めていくということがメインになるのかという気がしています。将来的に、愛別町の人口、子ども達の人口がどうなるか考えたとき、施設について考えなければいけないかと思っています。その道筋を、今から研究してもらうことも大事なことだと思います。教育推進アドバイザーに関する部分について、今、いただいたご意見を十分に参考にさせていただきたいと思います。</p> <p>次に、学校ICT整備ということで、ようやく学校から物品の提示が出てきて、大変ありがたいと思っています。何よりも、ICT機器を使用する先生が使いこなしていただくことが大事だと思います。金額をみながら、議会でもICTを進めてほしいというご意見をいただいていますので、手法を考えながら、積極的に進めていきたいと思っています。ICTの関係で皆さんからごさいませんか。</p>
中田委員長	<p>機器は入れたけど、先生がやってくれるか心配だが、今、こういう時代の中で、先生方もそれぞれ勉強してくれると思う。</p>
大山教育長	<p>実は、タブレット端末1台を、小学校から要望があって、今年予算で入れているんです。本年度の公開授業の中で、中学校の体育教諭がタブレット端末を使って、授業実践されました。若い先生は、そんなに違和感なく、子ども達に掲示できたり、指導できたり、できると思っています。教務主任を中心に、是非とも導入したいという意気込みは大きくなっていますので、最終的には、全児童生徒が持てるようなシステムにしたいと考えていますが、まずは小学校で10台あれば間に合うということです。教育の状況も、今、アクティブラーニングということで、自ら進んで調べるような学習形態に変わりつつあるということで、調べ学習の一助として機器が使えれば良いということで、その最低限の整備かと思っていますので、できれば単年度で揃えていただければと思っています。</p>
前佛町長	<p>ICT関係につきましては、できるものから検討させていただきということで、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>次に、スクールバスの運行委託です。これについては、今はまだ良いのですが、スクールバスに限らず、福祉バス等についても、運転手の確保が難しいということで、将来的に考えていかなければならない。町が雇いますと、70歳を超えると採用できない部分があり、これを委託にかけると、会社が責任を持って運行していただいて、年齢についても柔軟に対応できるということで、将来、そのような方向性でと</p>

	<p>ということで、ご理解いただけますか。</p>
一同	<p>はい。</p>
前佛町長	<p>ありがとうございます。</p> <p>公民館分館の耐震化工事の実施設計の関係です。これは、私の政策の進め方になりますが、役場庁舎の耐震化が心配されていますが、庁舎の耐震化をする前に、各地区のコミュニティ施設を優先的に耐震化していきたいという考え方で進めさせていただいています。地区の集会施設が全部耐震化になったところで、役場庁舎に手を付けたいと思っています。このようなことで、進めさせていただくということで、ご理解いただけますか。</p>
一同	<p>はい。</p>
前佛町長	<p>それでは、新規事業につきましては、概ねご意見をいただきました。次に、継続事業について、この中に特にということがありましたら、ご意見をいただきたいと思います。</p>
中田委員長	<p>教職員の研修事業は、特にお願いしたいです。いずれ愛別町からはいなくなるかもしれないが、早い時点で研修に行かせていただいて、先生方の質が上がることは、子ども達の学力向上のために大事なことだと思いますので。</p>
前佛町長	<p>ここ3年くらい、秋田県に行ってるんですね。愛別町だけではなく、北海道全体の学力向上に向けて、先生方に指導方法、教育の方法等を学んでいただき、愛別町から転動しても、結果的には北海道のためになりますので、教職員の資質の向上につきましては、今後も力を入れていきたいと思っています。</p> <p>継続事業の中で他になれば、事務局と打合せさせていただきながら、進めさせていただきますが、よろしいですか。</p>
一同	<p>はい。</p>
前佛町長	<p>次に、人材確保関係について、色々説明申し上げましたが、愛別町全体として、人材確保は非常に厳しい状況にあります。正職員として採用する部分であれば、採用後、定年まで面倒を見るという覚悟で、生涯職員としてということで、そういう部分では、慎重に、定数として考えなければならない。ただ、臨時職員として採用するとき、非常に難儀している状況です。町民の皆さん方の、色々なご紹介、ご協力をいただきながら、確保してまいりたい。必要最小限の正職員は、採用してまいります。幼児センターにつきましては、来年1名新しく採用決定しましたので、この部分も確保してまいりたいと思っています。特別支援教育支援員の確保については、教育委員会で十分努力していただきたいと思います。学校図書に関わる職員の確保について、1校で8時間勤務するということは当然ないと思いますが、1日、3時間、小中両校で1日何時間ずつ、1週間に何回来てもらおうか、そん</p>

	なことを想定しての事務局の説明だったと思います。この部分につきましても、皆様のご意見をいただきながら、検討してまいりたいと思っています。人材確保について、全体を通して、皆さんからご意見等ございませんか。
中田委員長	学校図書館に、なるべく司書免許を持っている人がいれば。今年の学力テスト、小学校6年生は読むことが苦手なようで、本を読むことが非常に大事だと、今言われているので、特に、図書館をうまく使えるように環境を作っていければと思っているが。
前佛町長	学校の教員免許を持っている人が、司書免許を持っている場合が結構多いと思います。司書免許だけ持っている人は案外少ない。職業として、司書だけの免許であれば、大都市じゃないとなかなかいないので、学校の先生で司書免許持っている方いらっしゃるよね。
大山教育長	今の現有の教職員ではないですね。司書教諭の設置基準には合致しないので、当町は司書教諭は置かなくて良いんですが、図書室の状況を見ると、空きも目立ち、古くなっているのも目立ちます。そして、学校統合のときの図書もあります、なかなかそれを見てもらう状況にはないということで、学校事務生に手伝っていただきながら、整理をかけられないかと思っています。そして、公民館図書室がバーコード管理になったので、同じように学校もバーコード管理ができればと思っています。司書免許を持っている人が近くにいるかと言えば、なかなかいらっしゃらない。東川、東神楽は1人の方が2~3校持って回って、学校図書室を子ども達に親しまれるような環境づくりをしてくれているみたいなので、何とかそのようになればとは思っています。
中田委員長	フルでなくても、週に何回かでも来てくれれば、だいぶ違うと思うけど。
前佛町長	そういう司書の人があると、子ども達が来て読みたくなるような絵を描いたり、飾り付けしたりして図書室のレイアウトが変わるんですよ。常時、毎日いなくてもよいから、月曜日と金曜日とか曜日を決めて来てもらって、そういうことで、子ども達を読書に引きつける力になるのかなと。午後から整理して、放課後、子ども達が来るということで、その短い時間に来てくれる人材を捜さなければならないですね。
大山教育長	町の職員で司書資格を持っている方のお力を、少しお借りしてみたいなと思っています。
長屋委員	資格だけではなく、実務もないと駄目ですよ。
前佛町長	これからも、努力して探してお願いできればという形で進めていきたいと思っています。人材確保の関係はよろしいでしょうか。
一同	はい。
前佛町長	次に、今後の課題ということで、多くの課題がありますが、それぞれ課題に向けて進んでまいりたいと思っています。アドバイザー、ICTの

	<p>関係は先ほどお話いただきました。学校公務補の関係は、年金支給開始までは、本人が希望した場合には再任用しなければなりませんので、再任用の任期が切れたときに考えなければいけない状況で、将来的な課題だと思っています。この部分については、委託化に向けて進め、正職員を採用するという事は、今の時点では考えておりません。</p>
中田委員長	<p>小中学校、結構年数経っているし、小学校の改修がまた延びたので何年後かはわからないが、小学校と中学校を別々に建てるということも大変なことだと思うし、子どもも少なくなって、中学校が3学年なので、本当に少なくなる。そうすると、なるべく小学校に近い方が良いと思うので、そのためには、小学校の方を建て替えるなりしてきちんと直して、小中一緒のような形になるのかなと思うんだよね。</p>
前佛町長	<p>間違いなく子どもの数が減ります。最大20名の9学年、トータルで180人切ってしまうですね。</p>
大山教育長	<p>1学年20名も厳しいですね。15~6人くらいですね。</p>
中田委員長	<p>そのうちに、隣町と中学校統合という話にもなってくるのではないかな。</p>
前佛町長	<p>昔の小中併設校は地域にもありましたので、不思議なことではないですが、校舎を5億も10億もかけて建て替えるなどとなったときには、本当に考えなければならないことだと思います。</p>
中田委員長	<p>そういう覚悟はしてなければならぬ。</p>
前佛町長	<p>美深高等養護学校あいべつ校の生徒さん、卒業される中で、2人が町内での一般就労を希望されている状況です。なんとか、その実現に向けて、体制整備にも努めているところで、ご承知のとおり、北町に障害者向けのグループホーム、共同で生活して、朝出勤する、そういう施設整備を今進めています。あいべつ校の卒業生も就労した場合には入れるということで、6部屋と体験的に入れる1部屋と合わせて全部で7部屋を改築中で、そのようなことで、対応してまいりたいと思います。</p>
中田委員長	<p>なかなか、愛別町には働きたいところがないのか。</p>
前佛町長	<p>基本的には、自分の住んでいるところの近くで勤めたいというのが本当のところ。</p>
大山教育長	<p>来春卒業する生徒は、自動車の免許を取るようには言われているみたいです。それで、取得に向けて自動車学校に行く準備を進めているようです。</p>
前佛町長	<p>町としても、教育委員会としても、応援できるところは精一杯応援させていただきます。特に、学校の経営の考え方、それから、先生方の姿勢がすごく前向き、子ども達も前向きなので、しっかり応援してまいりたいと思っています。</p>
中田委員長	<p>できれば、親御さんも引っ越してきてほしいね。</p>
長屋委員	<p>一人でも二人でもそういう子どもさんが出てくれればね。</p>

前佛町長	目標になりますからね。
中田委員長	体験で、きのこの施設に来てもらっているが、一生懸命やってくれている。
前佛町長	生徒さんには色々と力がありますから、それぞれの生徒さんの能力に応じた就労場所があればと思っています。
中田委員長	きのこの施設では、仕事に来たいとなったら、それなりに体制を考えなければならぬという話はしている。
前佛町長	他に、今後の課題の中で何かございませんか。 なければ、予算事業等については、これでよろしいでしょうか。
一同	はい。
前佛町長	その他ということでは何かございますか。 なければ、総合教育会議を閉じさせてもらってよろしいでしょうか。
一同	はい。
石田課長	長時間にわたりまして、教育委員会から引き続きの会議ということで、大変ありがとうございました。最後に、前佛町長からご挨拶いたします。
前佛町長	それでは、終わりお礼を申し上げます。総合教育会議ということで、皆さんそれぞれご意見をいただきまして、愛別町の教育のため、まずは子ども達のためにとということの第一前提ではありますが、更には、社会教育分野も一つ隅に置いて大事にさせていただいて、町民の方々が豊かな生活ができるような、総合的な教育を進めてまいりたいと思いますので、今後とも変わらぬご指導ご支援いただきますようお願い致します。今日は、ありがとうございました。

議事録署名委員

中田 栄一

議事録署名委員

文山 一成